

平成28年度学校経営計画

八王子市立松木中学校
校長 田中 史人

1 学校経営に対する基本的な考え方

学校教育の基本は、生徒一人一人の人格の完成を目指し、平和で民主的な国家および社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な生徒を育成することです。

そしてその実現のために、学校（教職員）は生徒一人一人を理解し、生徒が楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、教職員が一丸となって教育に取り組まねばなりません。この考えを経営の基本として松木中学校での学校経営を推進します。

2 校是

これからの社会を、周囲の人々と協力しながら主体的に生きることができる生徒の育成を目指し、つぎの校是を設定します。

「自立と協力」

3 教育目標

人権尊重の精神を基調とし、生徒に生きる力をはぐくみ、国際社会の変化に対応できる確かな学力と豊かな人間性・社会性をそなえた、「知・徳・体」の調和のとれた心身ともに健全な生徒を育成するために、つぎの目標を設定します。

『すすんで奉仕し

すすんで学び

そして すすんで鍛える生徒』

4 目指す学校像

- ◇基本的生活習慣を身に付けた、心身ともに健全な生徒を育成し、規律ある中学校
- ◇基礎的・基本的事項を確実に習得し、学ぶ楽しさを感じることができる中学校
- ◇地域に信頼され、地域に支えられ、地域とともに生徒と職員が成長していく中学校

5 目指す生徒像

- ◇自ら考え判断して行動できる生徒
- ◇課題の発見・解決に向け、主体的・協働的な学びに積極的に取り組むことができる生徒
- ◇周囲の人々と協力して行動できる生徒
- ◇あいさつができ、思いやりの心や感謝する心をもった感性豊かな生徒
- ◇地域の一員として地域のために活躍できる生徒
- ◇松木中を卒業したことを誇りに思い、卒業後も地域のために貢献できる生徒
- ◇自尊感情・自己肯定感を身に付け、高めていく生徒

6 目指す教師（職員）像

- ◇生徒一人一人を大切にし、厳しく、面倒見の良い教職員
- ◇これからの時代を生きる生徒に必要な資質・能力の育成を目指す教職員
- ◇地域のために貢献できる教職員
- ◇教えることが大好きで、授業を大切にする教師
- ◇授業の充実と指導力を向上させるため、日々研鑽に励む教師
- ◇前例にとらわれず、新しいことに積極的にチャレンジできる教職員
- ◇八王子市の教育方針を理解し八王子市（学校）に貢献できる職員

7 平成28年度の取り組み目標

取り組み項目	具体的な取り組み内容 等
① <u>基礎学力の定着と学習環境の整備、授業時数の確保</u>	・基礎・基本を大切にし、指導と評価の一体化を目指した授業を展開します。 ・生徒の知的好奇心を刺激する授業を行い、生徒による学習指導の授業評価の肯定率が88%以上を目指します。 ・授業時数を確保し、絶えず先を見据えて教育課程の推進と調整に取り組むように努めます。
② <u>学びの質や深まりの向上、各教科での指導技術（指導法・評価法）の向上と（教員の資質向上）わかる評価の実施</u>	・アクティブラーニング（課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習）を重視した指導技術と指導方法を改善・充実させます。 ・学びの成果を基にした学習評価の在り方や指導法の研修会・研究授業（年間5回以上）を行い指導技術の改善と向上を進めます。 ・評価・評定の説明責任をガイダンス機能等を活用することで明確にし、生徒が達成感や成就感を得るとともに保護者からも信頼される授業を展開します。
③ <u>ICT教育機器を活用した研究の推進（平成27・28年度研究指定校）</u>	・タブレットPCや電子黒板・書画カメラなどを授業で積極的に使用し、興味・関心を持たせる授業を展開します。 ・集会や保護者会等でもICT教育機器を積極的に活用します。 ・生徒によるICT教育機器の活用を通して言語活動の充実を推進します。（ポスターセッションの実施）
④ <u>ESD教育の推進（ユネスコスクールを視野に入れた教育活動の推進）</u>	・各教科、道徳、総合的な学習の時間、生徒会活動や委員会活動、地域活動など様々な教育活動の場で、ESD（持続発展教育）を視野に入れた教育を推進します。 ・前例にとらわれず何事にも前向きに取り組む進化、発展させることで、将来松木地域で活躍する生徒を育成します。
⑤ 基本的生活習慣の定着	・生徒の発達段階に応じた具体的な生活目標を設定し、基本的生活習慣を身に付けた生徒を育成します。 ・生徒の自主性と自立性を育成するために、ノーチャームを通して、時間を守らせる指導を行います。
⑥ 初期対応と初期指導（事故防止と安全な教育環境）	・日頃から生徒の小さな変化や行動を見逃さず、情報収集に努めます。 ・職員間や保護者・地域との連携を強化し、初期対応と初期指導に努めます。
⑦ 道徳教育の充実と指導力の向上	・道徳の授業時数を35時間以上確実に確保し、「特別な教科道徳」としての内容の充実を図ります。 ・道徳授業地区公開講座を年間3回行います。 ・若手教員の道徳指導の方法に対して、全職員で計画的に対応しスキルアップを図ります。

⑧ <u>あいさつの励行をはじめとした、規範意識の定着</u> (言語環境の充実と整備)	・あいさつができる生徒を育成します。 ・言語環境を整備し、ＴＰＯに応じた言葉遣いができる生徒を育成します。 ・<u>礼儀作法(マナー)を身に付けた生徒を育成します。</u>
⑨ 教育相談活動の充実	・年度初めに行われるガイダンス（相談活動）やいじめアンケートを毎月行います。教育相談活動の一層の充実を図りいじめのない学校を目指します。 ・スクールカウンセラーと学校が連携し、カウンセリング機能の充実を図り、生徒一人一人に応じた指導を心がけます。
⑩ 学校防災活動の推進	・地域の防災拠点として学校と地域が連携して学校防災計画を充実を図ります。 ・関係小学校と連携し、防災訓練を小学生と中学生と地域とが連携・協力して計画・実施します。
⑪ 学校ホームページの充実 (積極的な情報発信)	・学校ホームページを充実させ、週１回以上の更新（学校からの情報発信）を行います。 ・年間指導計画や学校説明会の資料などを学校ホームページに積極的にアップし公開します。 ・学校運営協議会、ＰＴＡ等のページを充実します。
⑫ キャリア教育の充実	・ボランティア活動や職場体験活動を充実させます。 ・ガイダンス機能を充実させ、発達段階に応じた進路指導を推進し主体的に進路選択できる能力を育成します。
⑬ 学校評価を生かしたＰＤＣＡサイクルの実施	・学校評価アンケートを年２回行います。評価を積極的に活用し、評価結果をもとに改善を早い周期で行います。 ・授業評価アンケートや各行事のアンケート結果を真摯に受け止め改善を推進します。
⑭ ライン組織の活用と組織力の向上	・主幹教諭や主任（教諭）を積極的に活用した学校経営を推進します。 ・校務改善を積極的に行い、各分掌や組織、委員会内での役割分担を明確にします。
⑮ ＯＪＴを活用した若手教員の育成と教職員の資質向上	・若手教員を育成するために、校長、副校長、主幹教諭、主任教諭から定期的に研修を受ける機会を設定します。
⑯ 保小中一貫教育の推進	・せいがの森保育園と松木小学校・長池小学校とともに保小中一貫教育を推進します。 ・一貫校の教員同士の授業実践や防災教育の推進、情報交換等、連携した交流を積極的に行います。
⑰ 特別支援教育の充実	・小学校２校と連携した特別支援教育を推進します。 ・３校合同の研修会を行い、松木地区の職員の資質向上に努めていきます。 ・みなさわ学園とのいっそうの連携を推進します。

⑱ 学校運営協議会との連携 P T Aとの連携・協力	・学校の敷居をいっそう低くし、学校行事や校内研修会等をはじめとした学校の諸活動に委員が参加できる機会を多くします。 ・主幹や学年主任からも学校運営協議会で報告を行う機会を設定します。 ・生徒のもつ力を地域をはじめとした学校外でも活用できる機会を設定します。 ・地域学校協働本部の活動を充実させ、地域の教育力を活用し、地域と協働した学校経営を行います。 ・学校運営協議会が主催する放課後と休業中の補習（学習）活動や検定活動を一層充実させます。 ・P T Aサポーター活動に全ての職員が参加し、P T Aと連携・協力した積極的な活動を推進します。
⑲ 環境整備と美化の推進	・校舎内外の環境美化に努め、ゴミが落ちていないきれいな学校を目指します。 ・委員会活動を通して、生徒の環境美化に対する意識を高めていきます（E S D）。 ・教室環境を整備し、学習効果の向上につなげます。
⑳ 学校予算の無駄のない執行	・コスト意識をもち、計画的で無駄のない予算執行に努めます。 ・E S Dの視点からも、職員をはじめ生徒一人一人に物を大切にするものの必要性を認識させ、限りある資源の有効活用に努めます。

8 3年後の松木中学校

- ◇松木中で学ぶ（学んだ）ことを誇りとする生徒を育成します。
 - ・生徒達が生き生きと活動する姿を見ることができ学校を目指します。
 - ・将来の社会を生き抜くための、「確かな学力」を身に付けさせます。
- ◇松木中で働くことを誇りとする、職員集団を育成します。
 - ・地域運営学校として、学校運営協議会と学校の連携を推進します。
 - ・地域に信頼され、地域から支えられる学校を目指します。
- ◇松木小学校と長池小学校・せいがの森保育園との連携をいっそう深め、生徒や教員による授業実践や研修会の交流を推進します。
- ◇地域の教育力を生かした教育活動を展開します。
 - ・地域と学校が連携し、各種検定（漢字・数学・英語 等）を実施します。
 - ・卒業までに7割以上の生徒が検定を受検し、個々の能力にあった資格取得を目指します。

教育は、将来の社会で活躍する子供たちを育成することです。子供たちは無限の可能性をもっています。

学習指導要領の改訂や中央教育審議会の答申など、ここ数年で教育は大きく変わろうとしています。平成27年度から八王子市は中核市になり、「第2次八王子市教育振興基本計画」も策定されました。また、来年は市制100周年を迎えます。

今後は、E S D（持続発展教育）の視点からも学校教育を推進し、将来の社会の担い手としての子供たちを育成します。そして、多様化する社会で、身の回りに起こる様々な問題に的確に対応できる「力」をもった子供たちを育成していきます。

成長した子供たちは、様々な形でその身に付けた「力」を社会に、そして地域（松木地区）にフィードバックします。教育は、将来の社会を創る仕事です。私たち松木中学校の教職員は一致団結し、子供たちの教育の推進を通して将来の松木地区をより活性化することに努めてまいります。